



はなみずき



学校だより
磐田市立竜洋西小学校

令和5年6月1日

～えがお かがやく にしのこ～

★右上のQRコードから、竜洋西小学校のホームページを御覧になれます★

5月会礼

校長 渡邊 真巳

【大切なのは「挨拶」と「整理整頓」】

先週の土曜日には、5年生6年生が、サッカーJ2のジュビロ磐田の試合を観に行きました。プロの選手のプレーを生で観て感動した人が多いと思います。今日は、一流の人についての話です。

サッカーの一流選手をたくさん見てきた日本サッカー協会の方が言ったことです。「サッカーの一流選手は、必ず二つのことができます。」大事な二つとは何だと思いませんか？「〇〇〇〇」と「〇〇〇〇〇〇〇」

サッカーの一流選手ができる二つのことの話聞いた、あるプロ野球の監督も言いました。「それなら、野球でも同じです。一流の野球選手も必ずこの二つができます。」さあ、サッカーでも野球でも一流の人ができる二つのこととは何でしょう？「〇〇〇〇」と「〇〇〇〇〇〇〇」

もう一人同じだと言った人がいます。それは高校の先生です。「勉強でも同じです。勉強がよくできる人はこの二つが必ずできます。」さあ、運動でも勉強でも、上手な人、よくできる人が必ずできている二つのこととは何でしょう？「〇〇〇〇」と「〇〇〇〇〇〇〇」

その二つは、これです。「〇〇〇〇」と「〇〇〇〇〇〇〇」⇒「挨拶」と「整理整頓」

この話を聞いて、質問をした人がいるそうです。

「挨拶や整理整頓ができなくても、サッカーが上手な人もいるんじゃないですか？」

サッカー協会の方はすぐにこう答えたそうです。

「いません。絶対にいません。何千人という選手を育ててきましたが、サッカーが上手になる人は、必ず挨拶や整理整頓がきちんとできる人なのです。なぜかは分かりません。」

「挨拶」ができるとは、人と上手につき合える。「整理整頓」ができるとは、物と上手につき合える。ということなのでしょう。



みなさんはどうですか？挨拶はできていますか？整理整頓はできていますか？

西の子の「挨拶」や「整理整頓」について、今の状態をクラスのみみんなで振り返ってみましょう。

これからも、西の子の「挨拶」や「整理整頓」のよさをたくさん見付けていきたいです。

「心の教室」が開設されました

今年度から、竜洋西小学校に新たに「心の教室」が設置されました。それに伴い、「心の教室相談員」が配置されました。これは、磐田市として、いじめや不登校に対応する教育相談体制の充実を図る施策です。悩みや不安を抱える児童生徒の「個」に応じたきめ細かな支援・指導を推進していきます。

心の教室相談員 若山 美奈子

学校教育目標

「えがお かがやく にしのこ」の具現化に向けての取り組み ～知育～

自分の考えをもち、対話を通して、学びをつくる

☆本気で考え、みんなと学ぶ子

本校では、「対話」をキーワードとして、子どもを主語とした授業づくりを行っています。

「あれ」「おや」「なぜだろう」「分からないぞ」という子どもの素直な感情から、学習課題が生まれます。それをみんなと「対話」を通じて追究し、「そうか」「分かってきたぞ」「じゃあ、これはどうなのかな」というように、自分の考えに自信をもてたり、自分の考えを再構築したりして学びを進めていきます。

子どもたちが大人になる近未来は、仮想空間と現実空間がさらに融合した新しい社会『Society5.0』の幕が開けるといわれています。生成AIに代表されるように、大量の情報から私たちにとってより理解しやすい情報が人工知能（AI）によって、提供される時代が始まっています。そういう時代だからこそ、人にしかできない対話による新しい気づきや発見、ともに創り上げる喜びを子どもたちに味わわせていきたいと思えます。



「にしのこ丸、出航」 ～にしのこ出発の会～ 5月29日

1年生から6年生までのにしのこが集まり、令和5年度にしのこ出発の会が行われました。『あいさつから やる気 ゆう気 げん気 ～みんなと「やってよかった」を広げよう～』をスローガンに、それぞれの学年の子どもたちが、工夫に工夫を重ねた表現で、新しい仲間の1年生に、学校のことを紹介しました。1年生も感謝の気持ちを含めて、元気な声で歌のプレゼントをしてくれました。子どもたちが主体の心温まる会となりました。

自分たちの目的地に向かって、いよいよ、にしのこ丸の出航です。

